

令和7年度版 中学校『国語』

移行資料

■資料1

文法・言葉・漢字の指導に関する留意点……………2

■資料2

情報の扱い方の指導に関する留意点……………3

■資料3

漢字配当に関する移行資料……………4

■補充教材

思考のレッスン1 意見と根拠……………6

光村図書

資料1 〔文法〕〔言葉〕〔漢字〕の指導に関する留意点

本資料は、令和3年度版から令和7年度版にかけて、光村図書「国語」教科書を継続使用する学校を対象に、円滑に指導を移行するための留意点をまとめたものです。

文法・言葉・漢字の指導においては、次の点にご留意ください。

文法

2年〔文法3 付属語〕の内容について

- 令和3年度版では、助動詞「ようだ・ようです」の働きを、「推定・比喩」としていましたが、令和7年度版では、これらに「例示」の働きを加え、「推定・比喩・例示」としています。

令和7年度版教科書を3年から使用される場合には、新版2年P251～256をご参照いただき、適宜補足してください。なお、口語助動詞活用表は各学年に掲載しています（新版1年P256、3年P238）。

言葉

1年〔言葉1 音声の仕組みや働き〕の内容について

- 令和3年度版では、音声の仕組みや働きについて、1年〔声を届ける〕で扱っていましたが、令和7年度版では、1年〔言葉1 音声の仕組みや働き〕（新設）で扱うこととなりました。
- 令和3年度版では、「アクセント」「イントネーション」とともに、「プロミネンス」を取り上げていましたが、令和7年度版では、これを含む「強調」のしかたを取り上げています。「プロミネンス」という用語は使っていません。

令和7年度版教科書を2年または3年から使用される場合には、新版1年P33をご参照いただき、適宜補足してください。

漢字

2年〔漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字〕の内容について

- 令和7年度版では、同じ訓をもつが、意味の異なる漢字を「同訓異字」としています。（令和3年度版までは、この言葉を用語として取り上げていませんでした。）

令和7年度版教科書を3年から使用される場合には、新版2年P118～119をご参照いただき、適宜補足してください。

資料2 情報の扱い方の指導に関する留意点

「情報の扱い方に関する事項」の指導においては、次の点にご留意ください。

意見と根拠

1年〔思考のレッスン1 意見と根拠〕の内容について

- 令和7年度版では、「意見」と「根拠（事実）」がどのように結び付くかの説明を「理由づけ」としています。令和3年度版の解説では、この用語を使っておらず、図中では「意見と根拠をつなぐ考え」としていました。表現は異なりますが、指し示す内容は同じです。

令和7年度版教科書を2年または3年から使用される場合には、本資料P6～7の補充教材、または新版1年P138～139をご利用のうえ、適宜ご指導ください。新版2年〔意見を聞き、整理して検討する〕（P29～30）や〔思考のレッスン1〕（P130～131）、3年〔意見を聞き、適切さを判断する〕（P29～30）などとの関連指導が可能です。

資料3 漢字配当に関する移行資料

資料作成のねらいと解説

令和7年度版教科書（以下、新版）の「新出漢字」は、これまでお使いになっていた令和3年度版教科書（以下、旧版）での配当学年とは異なる場合があります。

本資料は、漢字指導の円滑な移行を図るために、配当学年が変更になった漢字を示しています。ご活用際には、以下の点について、ご配慮をお願いいたします。

1. 次表（表1・表2）は、提出学年の移動により、「新出漢字」として学習する機会がなくなる漢字を示したものです。

表1 新版を2年から使い始める場合
旧版2年・3年から、新版1年へ新出箇所が移動したもの。

表2 新版を3年から使い始める場合
旧版3年から、新版1年・2年へ新出箇所が移動したもの。

例えば、表1の「彙」は、旧版では2年で「新出漢字」として提出していた漢字ですが、新版では1年に提出しています。

≫「漢字の確認」（練習問題）はこちら
<https://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/common/07c-ikousochi>



2. 上記1.とは逆に、旧版で既習の漢字が新版では「新出漢字」として提出されている場合があります。その場合は重複して学習することになります。ご指導の際はご注意ください。

表1 | 新版を2年から使い始める場合

漢字	初出学年		漢字	初出学年		漢字	初出学年		漢字	初出学年		漢字	初出学年	
	令3 光	令7 光		令3 光	令7 光		令3 光	令7 光		令3 光	令7 光		令3 光	令7 光
彙	2	1	肩	2	1	吹	2	1	訂	2	1	房	2	1
閱	2	1	弦	2	1	脊	3	1	偵	3	1	漫	2	1
鉛	2	1	溝	3	1	鮮	2	1	徹	3	1	躍	2	1
渦	3	1	彩	2	1	端	2	1	凍	2	1	揚	2	1
崖	2	1	載	2	1	壇	2	1	唐	2	1	踊	2	1
蓋	2	1	旨	2	1	聴	2	1	閩	2	1	瞭	2	1
吉	2	1	寿	2	1	椎	3	1	曇	3	1	惑	2	1
掲	2	1	芯	2	1	墜	3	1	被	2	1			

表2 | 新版を3年から使い始める場合

漢字	初出学年		漢字	初出学年		漢字	初出学年		漢字	初出学年		漢字	初出学年	
	令3 光	令7 光		令3 光	令7 光		令3 光	令7 光		令3 光	令7 光		令3 光	令7 光
嵐	3	2	誇	3	2	冗	3	2	椎	3	1	慕	3	2
渦	3	1	溝	3	1	錠	3	2	墜	3	1	褒	3	2
棋	3	2	剛	3	2	是	3	2	偵	3	1	羅	3	2
嗅	3	2	鎖	3	2	淒	3	2	徹	3	1	恋	3	2
巾	3	2	旬	3	2	脊	3	1	匿	3	2			
憩	3	2	准	3	2	薦	3	2	曇	3	1			
雇	3	2	彰	3	2	遡	3	2	盤	3	2			

情報
思考のレッスン1
意見と根拠

思考のレッスン2
原因と結果
186
ページ

情報整理のレッスン
比較・分類
52
ページ

■ 根拠とは

意見の正しさや有効性を証明するものを、
根拠という。意見を述べるときには、根拠を
明確に示す必要がある。

「根拠」というのは、「証拠」
のようなものですか。

そのとおり。意見の正しさを
裏つける「証拠」が「根拠」だ。
だから、根拠のない意見や、
根拠が不確かな意見は、信用し
ないほうがいい。



根拠は、意見の信頼性を高めるためにある。
だから、人によって異なる考えではなく、誰
が見ても変わらない**事実**を示すことが大切だ。

■ 意見と根拠の結び付き

根拠を示すときは、その根拠が意見とどの
ように結び付くのかを説明する必要がある。
これを**理由づけ**という。無理のない理由づけ
は、意見の説得力を高める。

根拠 猫は、散歩をさせなくてもよい。

理由づけ 仕事で家を空けることが
多い探偵は、毎日散歩をさせるの
が難しいから。

意見 探偵は、犬より猫を飼うべきだ。

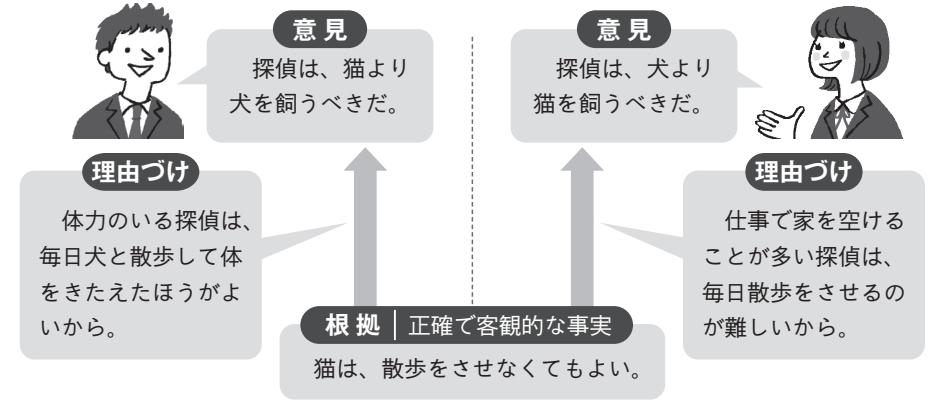
あなたの意見に納得した。
猫を飼うことを検討しよう。



チェックポイント

- 意見を聞いたり、伝えたりする
ときには、次の点を確認しよう。
- 根拠が示されているか。
- 正確で客観的な事実を根拠にしているか。
- 理由づけに無理はないか。

「理由づけ」によっては、同じ「根拠」から、
異なる「意見」が導かれることもある。



① 根拠がないと……

意見 探偵は、犬より猫を飼うべきだ。

これだけでは、聞く価値の
ある意見か判断できない。

② 「考え」を根拠にすると……

意見 探偵は、犬より猫を飼うべきだ。

根拠 猫のほうが、かわいい。

「犬のほうが、かわいい」と
思っている人は説得できない。

③ 「事実」を根拠にすると……

意見 探偵は、犬より猫を飼うべきだ。

根拠 猫は、散歩をさせなくてもよい。

確かにそうだ。でも、なぜ
それが、猫を飼う理由に？



問題1 ▼ 次の文章には、適切な
根拠が示されているか。なぜそ
う考えたかも合わせて答えよう。

① 伝統文化は大切にすべきだ。
なぜなら、とても大事なもの
だからだ。

② 文化祭の学級展示について、
クラスでアンケートを取った
ところ、三十五名中、三十名
が、「動画を作って発表した
い」と答えた。このクラスの
展示は動画にするべきだ。

③ 敬語を使う必要はない。尊敬
の気持ちは、敬語を使わなく
ても、自然に相手に伝わると
思うからだ。

問題2 ▼ 次に示した意見と根
拠を結び付ける理由づけを考え
よう。

- ① 「意見」 私は、ごみ袋に名前
を書くことに賛成だ。
「根拠」 この制度を取り入れ
たN市では、ごみが前の年
より八パーセント減った。
- ② 「意見」 私たちは、もっと基
礎体力を強化すべきだ。
「根拠」 先週の試合では、後
半、疲労でプレーが乱れ、
相手チームに逆転された。

新出漢字

138 頼
たのむ
たよる

138 偵
テイ

139 礎
ソ
はし

